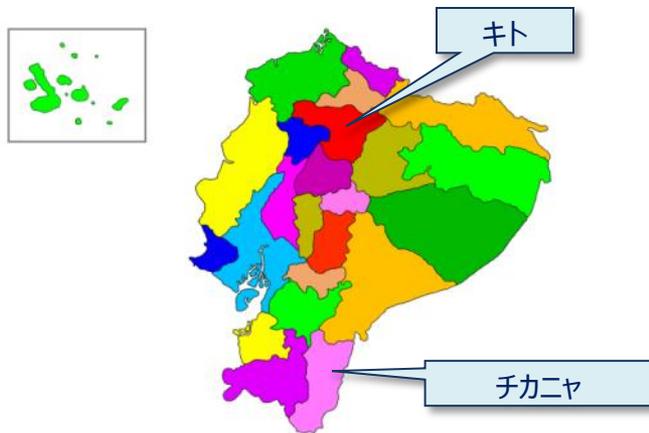


「チョロ・ブランコ橋梁建設計画」

在エクアドル日本国大使館において、平成27年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「チョロ・ブランコ橋梁建設計画」のための、当館とチカニャ自治会による贈与契約署名式が行なわれました。

サモラ・チンチペ県ヤンササ市チカニャ自治区サン・ピセンテ・デ・カネイ地区を流れるチョロ・ブランコ川は、チカニャ自治区中心部より南方約3.5 km地点に位置し、同自治区中心部とサン・ピセンテ・デ・カネイ地区並びに更に北西方面に所在する4地区を結ぶ交通の要所である。当サイトには、1981年にヤンササ市によって設置された既存橋梁（長さ：7.00m、幅：8.00m、高さ：3.00m、鉄筋コンクリート構造）があるが、老朽化が激しいうえ、雨により基礎構造部分が年々流され、橋板は大きく傾いている。現在は、基礎構造が沈むごとに砂利などを加え道を均して通行を可能にしているが、バス、ダンブカーや大型貨物車（3トン車以上）の通行は危険であることから、すべての車両が安全に通行できる鉄筋コンクリート製の安全な橋梁の設置が求められている。

本計画は、前述の地区において1橋梁を建設することにより、安全な交通を確保し、地域住民の生活環境の向上に貢献しようとするものです。



供与額： 8,052,000円

贈与契約締結日： 2015年12月18日

計画実施前



署名式

